

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 大仙市大曲花園町1番1号
名称 大仙市
代表者 市長 老松 博行

大仙市

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

「大仙市 SDGs 未来都市計画」(令和4年5月 SDGs 未来都市選定) に基づき、本市の将来都市像である「人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市」の実現を見据えながら、SDGs を原動力とした多様な主体との協働のもと、自然環境の保全・継承や地域経済産業の振興、誰もがいきいきと輝き健康で幸せに暮らせる地域社会の構築などの取組を進め、少子高齢化・人口減少社会にあっても地域に住む人々が地域の未来に希望を持ち、個性豊かで Well-being にあふれた未来に向けて持続的に発展する都市を目指す。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告)</small> 初回登録年月日：R3年11月19日	関連する主な SDGsゴール (最大3つ)
☑経済 ☑社会 ☑環境	徒歩移動やウォーキングの奨励による健康寿命の延伸と自家用車の利用抑制、加えて健康経営の促進や健康ポイントによる経済・産業の振興など、健康をキーワードに3側面をつなぐ「大仙市健幸まちづくりプロジェクト」を推進	プロジェクトへの参加者 (2021(9/29):18,746人 →2024:67,000人)	プロジェクトの参加者数は、R4.11.15現在で24,617人。今後もPRの強化やイベント等の実施、他分野の事業等との連携を通じて参加者の増加につなげていく。	3 8 13
☑経済 ☑社会 ☑環境	夢や希望に向かってチャレンジする若者や、地域の課題解決・活性化のため行動を起こそうとする若者を地域全体で応援する「若者チャレンジ応援プロジェクト」を推進	「だいせん Labo [※] 」への相談件数(毎年度160件) ※若者のチャレンジを総合的にサポートする本プロジェクトの推進拠点	R4年度からスタートし、11月末現在の相談件数は108件。起業などの夢や希望に向かってチャレンジする若者の後押しとなっている。	8 9 11
☑経済 ☑社会 ☐環境	結婚、出産及び子育てに喜びと安心を感じられる充実した社会環境の実現を目指し、出会いから結婚、出産、子育てまでの切れ目のない支援体制及び制度を構築する	子育て支援の満足度 (2021:48.6% →2030:70%)	R4年度の満足度は50.0%で昨年度より上昇している。R4年度から新たに実施した取組などの効果が現れたものと考えられる。	3 4 11

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	